

この概要は、令和5年12月19日に開催した茅ヶ崎市景観まちづくり審議会の速報として作成したものです。

詳細については、令和6年2月2日までに公表する予定の会議録をご確認ください。

令和5年度 第2回茅ヶ崎市景観まちづくり審議会 会議概要

日 時：令和5年12月19日（火）

9時30分から12時15分まで

場 所：茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室2

出席委員：水沼委員 三友委員（WEB会議により出席） 高橋委員（WEB会議により出席）
荒井委員（WEB会議により出席） 清水委員 菊地委員

欠席委員：深谷委員

出席職員：【都市部】後藤都市部長

【景観みどり課】田代課長 石下主幹 塩谷主任 二階堂主任 大竹主任

【産業観光課】稲葉道の駅整備推進担当課長 富士主幹 関谷課長補佐 島崎主査

【拠点整備課】沼田主幹

【資源循環課】林主幹

【建築課】中村課長補佐、前田課長補佐

【保健企画課】榎本課長 前田課長補佐、竹内副主査

【社会教育課】須藤博物館担当課長 小松館長補佐

そ の 他：【大和リース株式会社横浜支社】川口氏

【株式会社関・空間設計】三浦氏 作山氏

【株式会社ファーマーズ・フォレスト】上邑氏 石井氏

【有限会社小泉アトリエ】小泉雅生氏 小泉大河氏 北山氏

1 開 会

2 諮 問

(1) 道の駅整備事業について

資料に基づき事業担当者が説明を行い、審議会です承された。主な意見は以下のとおり。

- ・植栽について、在来種と南国風の樹種では維持費に違いがあるのか。
- ・国道134号側については様々な配慮がされているが、鉄砲道側は設備機器等の関係もあって、報告時から変化があまりないように思われる。どのような配慮をしているのか、再度伺いたい。
- ・植栽について、海の近くでは常緑樹が多くなるケースが多いところ、落葉樹も含めている点が良いと思う。
- ・ハマギク、マツバギクなど花が咲き、ローメンテナンスな樹種を入れる工夫を行うと、綺麗な演出ができ、市民も観光客も楽しめる季節感がある植栽になるのではないかと。
- ・報告時では、地域振興拠点周辺の舗装の色がベージュ系であったが、今回の資料ではグレー系となっている。グレーは汚れが目立ちにくく、維持管理が行いやすいが、一方で冷たい印象があるため、茅ヶ崎らしいというコンセプトに沿っているのか心配がある。
- ・駐車場の車室内歩道の舗装の色について、報告時ではベージュ系であったが、グレー系に変更されて

いる。アスファルトの駐車場の中で、歩行者が歩く部分もグレーとなると、差が分かりにくいのではないか。

- ・鉄砲道ギャラリーについて、「道の駅湘南ちがさき」内で販売する Choice!CHIGASAKI の商品等をアピールするとあるが、広告収入を得ることが前提となる空間となるのか。

商品について掲載する際はセンスが大事になる。商業面を過度に押す予定であれば、文化的なアートなども楽しめるようなものを検討し、茅ヶ崎市屋外広告物条例の面積規定との兼ね合いも考慮しつつ、良い形に持っていくことができるとういとお考える。

- ・木スクリーンについて、圧迫感を減らす視点も大切だが、ホノルルなどで行われているウォールアートなど、見上げるようなアートを楽しむという事例もある。圧迫感について検討することも大事であるが、殺風景にならないようなアイデアがあればよいとお考える。
- ・駐車場について、植栽帯を島に見立て、全体を海とするコンセプトは世界観があって面白いが、海の部分についてもう一工夫ほしい。訪れた人が世界観を語れるようなメッセージ性があると良い。
- ・近隣施設である柳島スポーツ公園との一体感を考えてほしい。
- ・屋外の楽しさを演出するようなベンチやパラソルの設えなど、全体的にどのように考えていくのが、道の駅の顔を作るという点で重要なポイントだと考えるため、丁寧に検討を進めてほしい。

3 報告

(1) (仮称) 保健所・保健センター整備事業について

資料に基づき事業担当者が説明を行い、質疑応答が行われた。本件は審議会で引き続き審議を行う。主な意見は以下のとおり。

- ・4階の屋上の使用方法について、訪れた人が出入りできるような場所となるのか。
- ・エントランスが東西にあるが、どちらがメインエントランスとなるのか。
- ・車の動線について、南側の建物を過ぎてすぐに保健所の敷地が出てくる立地であるため、利用者は急に左折することにならないのか懸念がある。
- ・公募型プロポーザルを行う際に提案を求めた特定テーマの中に、保健所・保健センターであることのわかりやすさについて配慮するとあるが、どのようにデザインに活かされているのか。
- ・乳幼児健康診査等を実施することで子どもが訪れるが、子どもに安心感を与えるような工夫がほしい。
- ・隣接する地域医療センターと同様の植栽ゾーニングとするとあるが、樹種を同様のものとするのか、配置のことなのか教えてほしい。
- ・樹種の選定について、生物多様性への配慮に繋がっているのか資料からは読み取れなかったため、その部分の位置づけを明確にすると良い。シンボルツリーの在り方、みどりの在り方をどのように捉えていくかが、様々な利用者が安心して来所できることに関係していくのではないかと考える。
- ・西側の植栽について、隣地工場の目隠しともなるボリューム感のある植栽とあるが、目隠しを考慮するのであれば、植栽の在り方は他にも検討の余地があると思われるため、現在の計画で確定するのか伺いたい。
- ・メンテナンス性に優れた樹種を選定されているが、様々な事情を抱えた方が来るときに、みどりが果たす役割があると思うため、メンテナンスを含め、どのように植栽を選定しているのか伺いたい。
- ・1階と2階を結ぶスロープが南面となるため、夏場は気温が高まると考えられるが、南側のガラス面の扱いについてどのように工夫しているのか教えていただきたい。
- ・乳幼児健診を実施する保健センターゾーンや、こどもセンターがアクセスのしやすい1階に配置されていない理由について教えていただきたい。
- ・トップヘビーな建物の形状であるが、耐震性についてはどのようになっているのか。

- ・厳しい条件の敷地で、様々な制約がある中、隣接する建物と差別化がされていると思う。また、保健所・保健センターとしての清潔感も表現されていると感じるため、新しい公共施設として期待している。

(2) 社会資本総合整備計画（下寺尾・堤地区の歴史的街なみ環境の向上）の事後評価について

資料に基づき事務局が説明を行い、質疑応答が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・評価の内容が淡々としたものになっているので、せっかくやった内容の情報がバツサリ切られてしまっているのはもったいない。何人の子供たちが文化財に触れる機会が増えたなど、定量的指標以外の部分について肉付けした内容で記載をしたほうがよい。今後につなげられるような評価の仕方をしてほしい。
- ・市の南側は施設が充実しているが北側はあまりなかったので博物館のような施設ができてうれしい。期待をしている面もあるが、あまり地域に開かれていないように感じる。地域のイベントと一緒にやり取りする取り組みがもっとあってもいいのでは。
- ・何人参加した、何人訪れたのかなど記載されるとよいと思う。
- ・この整備はハード面、ソフト面ともに非常に頑張った整備だと思う。だからこそやった事の書き込みがあったほうがよいのでは。資料3-3の5ページについては目標値が「達成できた」だけのため、何で達成できたかを書いたほうがよい。
- ・今後の方針について、運営協議会をいかに継続させるかが重要になってくる。下部組織や連携組織を作って意見をくみ取りやすいようにすればよいと思う。せっかくここまでやったのでソフト・ハード面を活発にできればと思う。

4 その他

- ・次回審議会の日程等について報告を行った。
- ・茅ヶ崎市環境事業センター粗大ごみ処理施設整備・運営事業の概要について、事業担当者より説明を行った。本件については、委員より質問を募り、次回審議会で諮問することとなった。

5 閉会